

目次

口 絵
序 目 次
解 説
凡 例

第一章 戦前期鳥取の概要と市町村合併

第一節 昭和戦前期鳥取の概要

1	耕地事業概要・商工業・水産業・社会事業・社会教育……………	3
2	銃後後援事業概況書……………	11
3	国民貯蓄奨励運動状況……………	22

第二節 大正・昭和戦前期の町村合併

12	1 鳥取市・大正村合併協定書……………	44
	2 鳥取市・大正村合併に関する歎願書……………	45
	3 鳥取市・大正村合併反対に関する陳情書……………	47
13	加茂村編入に関する件……………	53
14	福生村編入に関する件……………	54
15	米子町への編入につき成実村陳情書……………	57

4	郷土部隊名及び其の行動状況……………	29
5	鳥取県重要生産に関する概要……………	30
6	傷痍軍人三朝温泉療養所建設概要……………	33
7	日本赤十字社鳥取支部の状況……………	34
8	愛国婦人会鳥取県支部の状況……………	37
9	地方状況視察侍従御差遣試案……………	39
10	鳥取県の状況につき言上書……………	40
11	宮妃来県の見察につき大蔵省国民貯蓄局長通知……………	43

16	米子町への一部編入につき近接住民陳情書	59	26	士族の戸口	87
17	米子町への一部編入につき成実村意見書	61	27	貧困士族	88
18	米子町への合併につき覚書	64	28	士族移住開墾之儀に付伺	89
19	米子町への合併反対につき陳情書	67	29	移住給与拝借金及び下等移住士建家	90
20	米子町への合併につき成実村大字西大谷同意書	70	30	盟約書之事	92
21	市町村合併に関する協議の件	71	31	貸家規則貸金規則に付補助金額	93
22	弓ヶ浜半島行政区画変更に関する件照会・弓浜地方振興計画要領・弓浜地方振興委員会規程	78	32	公債証書御買上願	95
23	鳥取県八頭郡大内村山郷村虫井村組合議案	83	33	安積郡喜久田村宇倍神社の概要	96
24	当山郷村を智頭町合併する反対の理由	85	34	移住開墾願	97
			35	開墾規則	98
			36	鳥取開墾社規則	101
			37	義捐金依頼書	102
			38	1 拝借金年賦返納願	105
			1 2	開墾補助費拝借金年賦返納延期の義に付願	106
25	士族授産の爲め人民義捐金の事	86	39	拝借金返納年賦延期願	107
			40	池田輝博家令河崎真胤の承諾書	111

第二章 移住からみた鳥取の近代

第一節 福島移住と開墾

第二節 北海道移住と屯田兵

41	士族北海道移住の事	111
42	士族を屯田兵と為すの建議	114
43	士族移住の儀上申	117
44	明治十八年五月十二日佐橋銀一宛佐橋與作書状	118
45	明治十八年五月十六日佐橋銀一宛佐橋與作書状	119
46	明治十八年六月二日佐橋銀一宛佐橋與作書状	121
47	明治三十六年四月五日佐橋銀一宛佐橋義男書状	122
48	無格社鳥取神社昇格請願書	123
49	神社明細帳(東神社)	125
50	神社明細帳(池田神社)	127
51	漫録 屯田兵志願者に告ぐ	130
52	鳥取新報を読む	130
53	屯田兵移住者への注意	132

第三章 天皇・皇族・旧藩主家と鳥取

第一節 行幸・行啓と宮家の来県

54	屯田兵の実況に関する回答	133
55	天皇巡幸につき内申	134
56	巡幸の儀につき内申	135
57	行啓の儀につき内申	136
58	明治四十年五月皇太子山陰行啓につき事前実地巡検報告	137
59	東宮山陰行啓の御神社御代拝記録	138
60	宮内大臣宛鳥取島根知事上申書	140
61	行幸啓の節学生・生徒敬礼方及び敬礼方に關する注意	141
62	徳業碑(國本塔)	143
63	小松宮彰仁親王の来県	143
64	皇太子殿下行啓における下賜金等伝達式	145

第二節 大正・昭和天皇の大喪と大典

65 | 1 大正天皇崩御につき宗派別回答……………147

65 | 2 大正天皇崩御につき気高郡瑞穂村長回答……………151

3 大正天皇崩御につき倉吉高等女学校長

回答……………153

66 皇太后崩御につき服役免除……………155

67 地方饗饌資格者につき意見……………158

68 地方饗饌における服装の件……………162

69 地方饗饌資格者名簿……………163

70 即位に際し国家功労者候補精選の訓令……………165

71 贈位候補者調査につき日野郡長内申……………166

72 高齢者調比較表……………172

73 大礼につき宮内次官通牒……………173

74 養老の典に関する通牒……………174

75 養老の典につき内務省訓令……………176

76 養老賑恤の御沙汰案につき通牒……………176

第三節 天皇・皇族の救恤と伝承

77 鳥取県伯耆国旧大山寺住僧源盛へ特旨を以て祭祀料下賜の件……………177

78 鳥取県下淀江町外一村大火に付両陛下より

罹災者へ御救恤金下賜の件……………180

79 兵庫県及鳥取県暴風雨被害不尠に付御救恤

の件……………183

80 長慶天皇御陵に関する書類(牛尾得明)……………192

81 中津遺跡略説……………201

82 檜柴竹造「安徳天皇因幡国御潜幸事跡考」

緒言……………207

83 檜柴竹造「長慶天皇因幡御潜幸事蹟考」緒

言……………207

84 伯耆国会見郡四日市村安養寺境内御墓所之

儀に付伺……………209

85 安徳天皇陵伝説理由書 和田軍一……………210

86 安徳帝御陵崇護の由来……………211

第四節 池田家の活動

87 八幡神社修繕費寄付の件……………226

88 福島県安積郡鳥取原開墾社永谷牧衛外数十

名拝借金返納年賦延期願の件……………227

89 伯耆国米子城御買上の件……………228

90 北海道開墾事業に関する事務取扱嘱託の件……………228

第五節 主な池田輝博・仲博・幸子賞状

91 伯耆国会見郡・日野郡洪水罹災者施与につき賞状(輝知)……………229

92 伯耆国会見郡幡郷村役場費寄付につき賞状(輝博)……………230

93 鳥取市高等及各尋常小学校基本財産寄付につき賞状(輝博)……………230

94 伯耆国会見郡小学校経費・役場建築費寄付につき賞状(仲博)……………230

95 伯耆国汗入郡淀江町罹災者賑恤につき賞状(仲博)……………231

101 東伯郡赤碓町漁民溺死遺族救恤につき賞状(仲博)……………233

102 福島県凶作につき安積郡喜久田村窮民救恤につき賞状(仲博)……………233

103 北海道中川郡池田尋常小学校様舞分教場建築費等寄付につき賞状(仲博)……………234

104 八頭郡若桜町罹災者施与につき賞状(仲博)……………234

100 八頭郡山郷村罹災者施与につき賞状(仲博)……………232

99 伯耆国西伯郡淀江町里道改修に関わる寄付等につき賞状(仲博)……………232

98 西伯郡尚徳村新水路設置費寄付等につき賞状(仲博)……………232

97 鳥取県洪水被害者賑恤につき賞状(幸子)……………231

96 鳥取招魂社移転費寄付につき賞状(仲博)……………231

社会

第一章 社会運動

第一節 新政反对一揆

1 鳥取県暴動一件……………237

第二節 部落改善・融和運動

2 岩美郡細民改善協議会における指示事項……………242

3 岩切重雄の部落改善論……………245

4 融和団体鳥取県一心会設立趣意書……………250

5 米子地方の融和デー施設……………252

6 正しき輿論の高調……………256

7 今日の融和デーに当りて……………256

8 国民融和強調運動……………261

9 陋習一洗……………263

第三節 米騒動

10 米価高騰に関する細民救済施設事業調査……………266

11 米価高騰による外米販売……………268

12 日野郡恩賜救恤実施方法規程……………269

第二章 社会事業

第一節 社会事業の展開

13 鳥取県社会事業の栞……………270

14 社会時報発刊について……………272

15 県に社会課を新設……………274

16 米子市社会事業概況……………274

第二節 共済委員と方面委員

17 共済委員設置規定……………283

18 共済委員制について……………284

19 共済委員について……………285

20 方面委員とは……………289

21 方面委員制度と部落会、町内会、市町村常会……………290

第三節 婦人会

22 婦人会の概要調査……………291

23 婦人会設置に関して……………293

24 婦人会設置標準及準則の発布……………296

25 西伯郡における国防婦人会の設立……………303

第二節 伝染病対策

31 鳥取県産婆取締規則……………317

32 鳥取県産婆会設立経過概況……………318

第四節 青年訓練所

26 青年訓練所について……………304

27 青年訓練所雑感……………307

第三節 無らい県運動

33 鳥取市のコレラ流行……………320

34 衛生の重要性……………320

35 伝染病取扱手続……………322

36 伝染病予防心得……………323

37 衛生事務に関する件……………330

38 衛生事務協議会における知事訓示……………335

39 衛生事務協議会指示注意事項……………336

第三章 保健衛生

第一節 医療と助産

28 鳥根県医務条例……………310

29 鳥取県医事取締規則……………313

30 産婆開業の願出……………316

40 療養所設置に関する通牒……………340

41 癩予防に関する方法……………341

42 癩予防に関する法令施行手続……………343

43 癩予防方法に関する鳥取県警察長訓示……………347

44 立田清辰知事演説「癩予防は私の念願」……………349

45 鳥取県癩子防協会設立趣意書……………351

46 鳥取寮は空家……………354

47 鳥取県の収容患者が大挙逃亡……………356

第二節 ブラジル移民

57 カナダ移民史……………390

58 弓浜半島の開拓とその精神的風土……………392

第四節 無医村対策と社会保健委員の養成

48 巡回無料診療に関する件……………357

49 農村医療施設に関する件……………360

50 家附の娘さんを看護の第一線に……………361

51 産婆、看護婦に良家の娘さん……………362

52 保健委員設置に関する県会の議論……………363

53 鳥取県社会保健委員勤務要綱……………367

54 産業組合中央会鳥取支会主催保健婦座談会……………377

55 鳥取県保健婦協会会則案……………387

第三節 満蒙開拓団

59 ブラジル移住早わかり……………393

60 鳥取県海外協会創立委員会……………401

61 敵性国在留邦人、在邦困窮家族救済に関する件……………406

62 橋浦昌雄日記……………408

63 満州農業移民協議会附議事項……………411

64 満州農業移民の趣旨徹底に関する件……………418

65 村で食へねば満州へ行きやれ……………420

66 東伯郡の分郷計画協議……………421

67 満州の開拓に小集団移民……………422

第四章 移民

第一節 北米カナダ移民

56 足立儀代松・せいひの墓碑……………390

第四節 満蒙開拓青少年義勇軍

68 満蒙開拓青少年義勇軍募集要綱……………422

69 奥日野を満州へ延長……………424

70 東伯郡分郷計画基礎調査報告書総説……………425

71 第五次満蒙開拓義勇軍の出発……………428

72 郷土部隊郷土訪問の中止……………431

第三節 軍需産業への従事

79 市町村職業係事務研究会の開催……………450

80 陸軍運輸部要員の極秘募集……………454

81 日立製作所安来工場従業員取扱に関する件照会……………457

第五章 戦時下の県民生活

第一節 国民精神総動員運動

73 国民精神総動員運動実施方針……………433

74 精神総動員の実践細目表……………437

75 支那事変勃発三周年行事に関する件……………440

第四節 勤労奉仕

82 護国神社造営工事勤労奉仕概況……………458

83 船上山道場の建設工事……………460

84 勤労奉仕者ならびに請入側の心得……………461

85 勤労報国隊編成要綱……………462

86 松根油緊急増産実施要項……………466

第五節 学徒勤労動員

87 全面的動員へ／学徒は生産面担当……………468

88 手取りは学校保管／勤労学徒の報償支給額……………469

89 学園挙げて勤労動員／広島県へ二千余名出動……………471

第二節 常会・部落会

76 大山村部落常会規程……………443

77 市町村常会、部落・町内常会の設置……………444

78 昭和十八年の村常会議案……………445

128	米子市会要領筆記録……………	550
127	米子市庶務課長日記にみる防空……………	545
126	昭和十八年米子市内の戦中日記……………	538
第十一節 戦時下の米子の記録		
125	朝鮮人酌婦の移入……………	535
124	壮丁錬成会の活動……………	534
123	貯金報国の思想……………	533
122	鳥取県協和会の発足……………	533
121	内鮮共立会定期総会……………	531
120	内鮮共存会の設立……………	531
119	山陰日新会設立総会……………	530

第十節 在日朝鮮人		
118	心身鍛錬夏季強調期間……………	527
117	空地利用徹底運動要綱……………	525
116	企業整備に関する意見具申……………	524

宗 教

第一章 明治前半の状況

第一節 神仏分離と大山

1	西楽院買入山林御下渡歎願（下書）……………	559
2	西楽院建物金米等処分悉皆大神山神社附属に改正指令……………	559
3	地藏菩薩画像巡村配賦許可につき願（洞明院）……………	560
4	許可願の取り下げ（洞明院）……………	561
5	地藏本堂本尊地藏菩薩他出開扉法会届……………	562
6	大山の僧侶たち（転住願・兼務願）……………	563
7	大神山神社奥宮御改正願に付実況具状書・大神山神社奥宮御改正之儀に付上申……………	566
8	奉仕の為に愚衷を陳する書（下書）……………	571

第七節 疎開		
102	疎開受入相談所の設置……………	500
101	都市疎開にかかる市町村の連絡協調……………	499
第六節 防空		
100	必勝輸送協力運動警察署単位懇談会……………	498
99	ソ連侵攻に関する急報……………	498
98	灯火管制の厳行……………	496
97	防諜週間……………	494
96	空襲時における退去及事前避難……………	493
95	隣保防空要綱の決定……………	488
94	豪岡山監視哨の設置……………	480
93	雲伯防空演習……………	479

第八節 物資統制

105	地下足袋、ゴム底布靴、ゴム靴新旧品交換要綱……………	505
106	砂糖の配給……………	507
107	自家用塩製造の許可……………	508
108	セメントの消費規制……………	509
109	物資配給明細表……………	509
110	鳥取震災地からの廃品重要資源回収……………	513
111	座布団綿回収の実施……………	514
第九節 生活の制限		
112	戦時国民生活要綱……………	515
113	臨時郵便取締令について……………	520
114	結婚の奨励……………	521
115	残存店に関する意見具申……………	523

92	鳥取県新規中等学校卒業者勤労働員継続措置要綱……………	475
91	勤労働員学徒赴任心得……………	474
90	兵器増産へ堂々の進発……………	472

103	疎開者受入に関する手続き……………	501
104	疎開者の戦力化……………	503

第二節 明治初年の社寺整備・存廃をめぐる動向

9 加知弥神社旧領地取調……………572

10 社寺境内土地有無其外取調帳(大井村)……………574

11 社寺境外土地立木調査……………576

12 廃社廃寺の実地取調(加瀬木村)……………580

13 境内の引き裂き土地とその後(宮方神社)……………583

14 大神山神社奥宮境内の引き裂き土地とその後……………584

15 撰社再興追願(赤松村)……………584

16 再建仏堂明細書(赤松村)……………585

17 神社寺院明細帳引直しにつき達……………585

18 神社神賑御届……………586

19 招魂社境内地整備に関する記録(『招魂社社務所日誌』)……………587

20 樹木植付につき伺・奉納樹木調書……………588

第四節 鳥取の国学者・神職たち

21 飯田年平「憂国私言」……………590

22 鳥取県神官取締規約・神官取締所事務章程……………598

23 気多郡講究会規則……………602

24 亀井公三〇〇年祭挙行準備上の疑義につき宮地巖夫意見……………604

25 三〇〇年祭挙行準備に関する飯田秀仲書状……………605

26 亀井公三〇〇年祭祭典費予算……………607

27 氏殿権現から別格官幣社名和神社へ(『県治要領』抜粋)……………609

28 「偶像」神体から「神鏡」へ(「名和神社御霊代御奉納之記」抜粋)……………610

29 宇倍神社神官の儀に付上伸書……………612

30 定約書(大神山神社)……………615

31 大神山神社の各地所轄社管理・運営……………619

第三節 明治前半期の祭礼とその空間整備

第五節 鳥取県における国家的神社の整備・運営

第六節 明治前半の大山にむけられた視線

32 村産土神合祭の山神を境内末社に建置願……………621

33 広島県内牛馬市有志者の大神山神社分霊奉迎希望……………622

34 大神山神社奥宮境内山葡萄採取許可につき県庶務課照会……………623

35 許可理由照会につき大神山神社社務所回答……………624

36 大神山神社奥宮境内及び所有山林山葡萄・大小ガブ採取願……………625

第二章 明治後半の状況

第一節 宗教／神社行政の形成と鳥取県

神職会の成立

37 明治三十三年 神仏教務所説教所調査報告……………626

38 明治三十五年 神仏教務所説教所調査報告……………626

39 荒廃寺院の実態調査……………627

40 神職欠員神社の奉仕者現況取調……………628

第二節 明治後半都市農村の祭礼空間の様子

報告書

47 県神職会 明治四十二年定期評議員会概要……………634

46 代の回顧(稿)……………632

45 県神職会創立経緯(飯田秀穂「本会創立時神職の士族編入願」……………631

44 取締所対応につき書簡……………630

43 四十連隊臨時招魂祭神典式執行への県神職につき調査……………629

42 神道教派施設の境内設置・神社との関係等……………629

41 小学校在職教員の神職推薦不許可の件示達……………628

40 神職推薦につき村長副伸……………629

39 神職の士族編入願……………631

38 県神職会創立経緯(飯田秀穂「本会創立時代の回顧」稿)……………632

37 県神職会 明治四十二年定期評議員会概要……………634

36 神社上地官林境内編入願……………641

35 神社上地官林境内編入願(その2)……………642

34 寺院境内障碍木伐採再願(大山・法雲院)……………644

33 明治三十三年 招魂社 大祭関係記録……………644

32 明治四十四年 招魂社 天長節祝祭関係記録……………645

83	神社中心主義に関する各神社報告書	713	93	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社	728
82	軍隊演習等の神社境内乗馬牽き入れ取締	712	92	加知弥神社設備計画書	726
81	神社並木の保存注意・神社並木調査	711	91	明治神宮献木願書記入事項他	725
80	神社管理・運営に関する法令取扱い方注意事項	708	90	明治神宮進献希望樹種の条件につき周知依頼	724
79	神社事務につき打合わせ・神職への注意事項	703	89	明治神宮境内樹木進献につき員数等報告	724
78	神職奉務・神社経営につき訓告	696	88	神社法規改廃につき気高郡内神職の意見答申	721
77	神社施設に関する参考資料・神社整備他に関する注意	684	87	1 神宮大麻・曆の頒布につき協力方通達1	720
76	県神職会新会頭・佐上信一訓示演説その他	677	87	2 神宮大麻・曆の頒布につき協力方通達2	721
75	社寺宝物検査に古社寺保存会会長九鬼隆一來県につき通牒	676	86	敬神の道・祭祀振興に関する県知事訓示	719
74	保存を要する顕著な名勝・旧蹟につき調査	675	85	特殊祭事ほか神社祭事につき加知弥神社回答	717
73	第三節 大正期の状況		84	官国幣社以下神社幣帛供進使参向内規	715
72	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		83	見物対応方の示達	714
71	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		82	大山寺什器宝物観覧料金徴収の出願書類返戻	714
70	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		81	見物対応方の示達	714
69	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		80	大山寺境内安養院外四ヶ院処分の示達	713
68	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		79	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	712
67	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		78	大山山内寺院の県外移転願	711
66	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		77	大山寺の国宝・特別保護建造物修繕での発願	710
65	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		76	大山寺本堂境内に各寺堂境内を悉皆合併許願	709
64	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		75	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	708
63	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		74	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	707
62	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		73	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	706
61	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		72	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	705
60	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		71	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	704
59	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		70	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	703
58	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		69	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	702
57	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		68	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	701
56	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		67	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	700
55	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		66	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	699
54	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		65	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	698
53	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		64	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	697
52	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		63	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	696
51	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		62	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	695
50	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		61	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	694
49	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		60	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	693
48	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		59	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	692
47	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		58	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	691
46	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		57	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	690
45	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		56	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	689
44	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		55	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	688
43	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		54	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	687
42	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		53	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	686
41	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		52	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	685
40	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		51	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	684
39	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		50	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	683
38	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		49	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	682
37	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		48	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	681
36	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		47	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	680
35	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		46	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	679
34	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		45	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	678
33	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		44	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	677
32	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		43	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	676
31	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		42	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	675
30	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		41	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	674
29	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		40	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	673
28	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		39	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	672
27	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		38	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	671
26	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		37	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	670
25	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		36	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	669
24	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		35	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	668
23	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		34	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	667
22	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		33	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	666
21	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		32	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	665
20	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		31	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	664
19	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		30	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	663
18	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		29	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	662
17	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		28	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	661
16	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		27	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	660
15	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		26	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	659
14	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		25	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	658
13	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		24	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	657
12	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		23	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	656
11	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		22	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	655
10	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		21	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	654
9	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		20	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	653
8	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		19	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	652
7	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		18	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	651
6	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		17	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	650
5	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		16	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	649
4	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		15	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	648
3	第一節 県神社行政の新たな方向性の登場		14	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	647
2	第二節 明治神宮造営とそれ以後の神社境内		13	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	646
1	第三節 代替わりのなかの地域社会と神社		12	大山寺境内無建物堂宇明細帳削除願	645

124	「新穀感謝と増産 燃料と電気節約」	777	138	第十一回勸学祭 式次第・宝鏡受賞者	810
123	「大祓の励行」	776	137	昭和十八年 勸学祭執行案	809
122	「神様と選挙」	772	136	昭和十八年 勸学祭宝鏡授与規程	807
121	小学校講習会神道講録（稿）	754	135	昭和九年度 大神山神社勸学祭	806
120	神社祭典を荘厳に執行するの件 県学務部 通牒	754	134	大神山神社小学校長座談会・勸学祭宝鏡授与 規定	803
第四章 昭和戦前～戦時期の状況			133	比乃川上神域宣揚祭記録（抄）	793
第一節 神道国家的状況の形成			132	県社以下神社神職の在職調回答	792
119	招魂社境内への鳥取市公園道路開鑿問題	753	131	大日本神祇会鳥取県支部 神職錬成会要項	789
118	旧藩主の参拝	752	130	県神職会 日本主義大講演会開催	788
117	志士五十年祭	750	129	満州国部隊の郷土神社写真送付につき依頼	787
116	彰忠会会務報告（大正八・九年度）	748	128	『上代因伯史』編さんの神社調査報告依頼	786
第七節 招魂社祭礼と大正期の都市空間			127	込生徒の個別修練委託	785
115	サンフランシスコ万博英文日本鉾泉案内誌 への写真協力依頼	746	126	県立青年学校教員養成所 神職への卒業見 届	782
第五節 社寺宗教・「類似宗教」をめぐる さまざまな動向			125	敬神模範市町村調査報告	779
104	大社教による神道拡張・国民道徳鼓吹等の 意	746	114	大山寺への特別保護建造物及国宝の管理注 意	746
第四節 神社合祀その後			113	史蹟名勝天然記念物保存要目	743
103	独立廃止はすべて神社合併扱いとする件通 達	735	112	名勝史蹟古墳墓につき取調	742
102	神社整理・神職待遇改善の督励	734	111	名勝史蹟及天然記念物保存方法調査につき 照会	740
101	神社整理の速やかな整理実行につき指示	733	110	神職召集時の神社奉仕取扱いにつき通達	740
第六節 文化財行政の確立と社寺			109	平和克復祭日程その他報告	739
100	大礼挙行を前に神職欠員解消につき通達	733	108	村社以下神社まで宣戦奉告祭執行の件	738
99	神職兼務神社数の制限他につき通達	732	107	を要するものの調査依頼	737
98	立太子礼当日の各神社祭典挙行につき注意	732	106	依頼	737
97	大典奉祝について注意	731	105	寺院明細帳の再調製	736
96	神社昇格運動に関する注意	730	104	神道・仏道各宗教派教務所・説教所の取調 依頼	736
95	大典記念神社境内拡張の実施につき督促・ 回答	730	103	巡回布教	736
94	神社大典記念事業報告書	729			

139	第十一回勸学祭 誓詞……………	811
第三節 神道国家的状況の地域実態		
140	神宮大麻及曆頒布成績向上に関する依頼……………	812
141	神宮大麻及曆頒布普及の督励……………	812
142	八田三郎知事「十一月の目標」……………	813
143	「問答『神宮大麻』」……………	815
144	神宮大麻奉斎状況調査依頼……………	817
145	合併未実行の神社への神社合併督励ほか通達……………	817
146	被合併神社復旧に関する実態・動向の調査……………	818
第四節 宗教団体法と諸宗教の動向		
147	宗教団体法実施にかかる教会調査報告……………	821
148	宗教団体法施行細則による年次報告（黒住教佐治教会）……………	827
149	宗教団体法施行細則による年次報告（曹洞宗宗泉寺）……………	830
第五節 戦争下の祈願・顕彰・慰霊		
150	宗教団体法による宗教結社届（真言宗尾際布教所）……………	834
151	八頭郡仏教会の東西合同……………	837
152	大日本婦人会佐治三支部 武運長久祈願祭 二千度参執行証明……………	839
153	八田三郎知事「大戦下に新年を迎ふ」……………	839
154	大日本神祇会鳥取県支部 名和公精神顕揚講話会……………	842
155	「名和神社奉遷六十周年」……………	843
156	「草場弘氏の謝罪文」……………	843
157	松本政一「聖旨奉戴必勝総突撃運動」……………	845
158	「護国神社 御造営成る」……………	846
第六節 戦時下の社寺宗教と民俗		
159	神社境内木の供木につき通達……………	849
160	神社境内樹木伐採の許可手続きにつき注意……………	849
関係者名簿		
161	軍需造船供木運動と寺院・教会……………	850
162	「神社の金属 回収強化さる」……………	852
163	「金属回収に美談山積」……………	853
164	「梵鐘の価値」「梵鐘供出問答」……………	854
165	「梵鐘悉く応召」……………	857
166	「お正月は新暦で」……………	858
167	「民間年中行事の統一」……………	859
168	「夜間墓地の灯火厳禁 灯火は敵の爆弾を呼ぶ」……………	861
169	神社神輿修繕等懇談のため関係区長来社依頼……………	862